

<p>題材名</p>	<p>「知ってる? ピカソ!」【鑑賞】 作品：《静物》 パブロ・ピカソ 1944年</p>		
<p>ねらい</p>	<p>○ピカソの人物像や作品に興味関心をもつ。 ○ピカソの作品のよさを味わいながら、感じたことを伝える。</p>		
<p>内容</p>	<p>導入：【美術館紹介】 知る：【ピカソってどんな人?】ピカソの人物像を知る。 みる①：【ピカソの作品、ど〜れだ?】ピカソの作品を10点鑑賞し、特徴を探る。 みる②：【何がみえるかな?】作品《静物》を、対話による鑑賞でみる。</p>		
<p>時間</p>	<p>学習活動&役割分担 (ナリ)</p>	<p>留意点 (※)</p>	<p>準備</p>
<p>:</p>	<p>準備</p>	<p>(室) 教室配置 参照</p>	
<p>~</p>	<p>導入：【美術館紹介】 3分 近代美術館を紹介する。 T2：「美術館って何があるところかな？」 C：「絵」「周知」 T2：「美術館も作品です!」「椅子もあるよ!」 今日の学習を説明する。「一緒に絵をみましょう!」</p>	 <p>「これ、な〜んだ?」</p>	<p>□近代美術館写真 □マリリン写真</p>
<p>~</p>	<p>知る：【ピカソってどんな人?】 15分 T2：「実は、美術館からもう一人来ているんです!」 T1：「わたし、キ・レ・イ?」お面を被って登場 T2：「どんな特徴があるかな?」 T1：「私をこんな風に描いた人、誰だと思う?」 C：「ピカソ!」 T2：「正解! ピカソってどんな人か知ってる?」 (芸術家肖像写真を並べて掲示する。) T1：「この人がピカソさんだと思う人!」 「どうしてそう思ったの?」 以下、順番に聞いていく 「正解は…」 T2：写真の人物を紹介する。 (シャガール、マティス、ダリなど紹介) T1：「裸の人がピカソさんでしたね〜。」 「どうして裸なんですか?」 T2：ピカソの出身国スペインについて 裸のエピソード 1881-1973 (91歳) 名前の紹介「長生きしたけど名前も長いよ!」</p>	<p>※子供が注目した点を褒める。 「よくみているね〜!」</p> <p>※シャガール、マティス、ダリ、ピカソの肖像写真を掲示する。 「どうしてこの人だと思ったのか、選んだ理由が言えるといいね!」</p> <p>出身国：スペイン マラガ市 (闘牛、フラメンコ、カザルマリア教会) パブロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・デ・パウラ・ファン・ネボムセーノ・マリーア・デ・ロス・レメディオス・クリスピアーノ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダード・ルイス・イ・ピカソ</p>	<p>□ドラ・マルのお面</p> <p>□芸術家肖像写真</p>
<p>~</p>	<p>みる①：【ピカソの作品、ど〜れだ?】 15分 T2：「ピカソが描いた絵を見つけてね!」 (複製画/パネルを並べて掲示する。) T1：「この絵をピカソさんが描いたと思う人!」 「どうしてそう思ったの?」 以下、順番に聞いていく 「正解は…」 T2：「これとこれと…がピカソの絵です。」 T1：「この絵の共通点を見つけてみましょう!」 C：「カクカク!」「いろんな色!」「鮮やか!」 T1：「本当だ! いい所に気が付きましたね。」 T2：「実は全部ピカソが描いた絵なんです!」 「描いた順番に並べてみよう!」 学生時代→青の時代→バラ色の時代→アヴィニヨンの娘たち などを紹介する。</p>	<p>※収蔵作品《静物》を含めたピカソの作品の複製画/パネルを掲示する。</p> <p>※カクカクや色に注目させる。</p> <p>※《アヴィニヨンの娘たち》を取り上げる際は、アフリカのお面について紹介する。</p> <p>※《スープ》を取り上げる際は、対話による鑑賞を行い、色による効果なども話す。 「何が描かれているかな?」 「青い色から感じたことは?」</p>	<p>□ピカソ複製画/パネル</p>

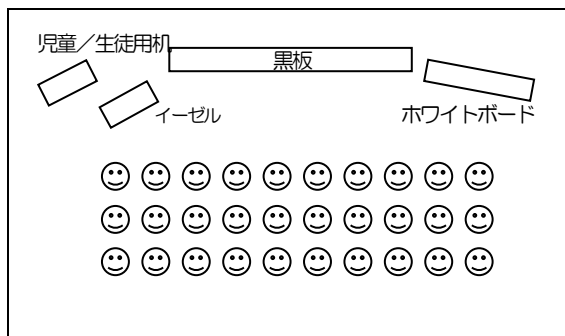
：	みる②：【何がみえるかな?】 10分 T2:「これらの絵の中で、この絵(収蔵作品《静物》)の本物が 近代美術館にあるんです!」 「30秒、よ〜く見て、何が描いてあるか見つけてください。」 (T1:指名をしてください。) C:「ポット」「ろうそく、ろうそく立て」「鏡」「絵」「窓」「コーヒーカップ」「スプーン」…など T2:「実際は、こんなものを見て描いていたんです。」(《静物》のレプリカセットを見せる。)	※絵の中に何がみえるか聞く。 ※色や形からの印象を感じ取らせる。 ※「鏡」「絵」「窓」…「絵の中にある枠」(画中画)に描かれているものからどんな印象を受けるか考えさせる。 ※実際のものちょっと違うところを見つけられるようにする。 (多視点画法) ※ピカソ・マチスの顔、「&」にみえるところを紹介する。	<input type="checkbox"/> イーゼル <input type="checkbox"/> 《静物》複製画パネル(大) <input type="checkbox"/> 《静物》レプリカセット <input type="checkbox"/> レプリカセットを隠す布
：	まとめ：2分 T1:「今日の鑑賞は楽しかったかな?」 T2:「美術館に本物の作品を見に来て下さいね!」		
実施日時	年 月 日 () 準備開始	： ～	
	2校時	： ～	組 名
	3校時	： ～	組 名
	4校時	： ～	組 名
場 所	学校 会場 ()		
人 数	年生 クラス 名+ 名		
進 行	美術館：		
当日準備	<input type="checkbox"/> ドラ・マールのお面の位置確認 <input type="checkbox"/> 《静物》レプリカセットの設置 →布で隠す <input type="checkbox"/> 複製画パネルの設置 →布で隠す <input type="checkbox"/> 各パネルの準備		
事後学習	・自分の思いをこめた絵をかく ・ピカソの他の作品を見つける 等		

<ピカソ名言>

「それにしてもあの絵は全然彼女に 似ていないな」「なに、彼女の方でだんだん絵に似てくるさ」
 「私は対象を見えるようにではなく、私が思うように描くのだ。」
 「子どもは誰でも芸術家だ。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうかだ。」
 「ようやく子どものような絵が描けるようになった。ここまで来るのにすいぶん時間がかかったものだ。」
 「わたしは戦争を描かなかった。...しかし当時のわたしの絵の中に戦争があることは疑いない。」

教室配置

- 児童/生徒用机・ホワイトボード(または黒板)は必要です。
- 授業前に複製画/パネルやレプリカを設置し、布で隠しておきます。
- 児童/生徒は椅子、座布団、どちらでもOKです。
- 筆記用具はいりません。



対話による鑑賞について

対話による鑑賞の授業は、美術作品をよく見てその意味を自分で創り出す、学習者中心の学習理論(社会的構成主義)に基づいた授業です。一人ひとりが学習に参加し、体験的に学び、共同で知識を構成していく。この学習過程を通して美術作品の理解が深まることはもちろん、問題解決能力や主体的思考力、コミュニケーション能力などの知的能力の育成も期待できます。

この授業に正解はありません。いい意見やおもしろい見方はありますが、間違った意見や、変な見方はありません。作品を見て自分が感じたことや考えたことを発表し合って、みんなで楽しみましょう。



4つの注意

- ①しっかり見る ②よく考える
- ③手を挙げて、考えたこと感じたことを大きな声で話す。
- ④他の人の発言をしっかり聞く。

何が見えますか? お話してください。

作品のどこからそう思いましたか?

Let's try!

※理由を聞くことで、鑑賞が深まっていきますよ!